

塗料界新報

発行所
塗料界展望社
東京都文京区本駒込3-22-2
第4ビル4階
電話 03(3824)5711番(代表)
FAX 03(3824)5712番
編集印刷発行人 荒井康雄
購読料 1ヵ年 10,000円
振替口座 00160-8-46083

鋼構造物用 塗料特集

経産省中小企業庁
ベンクラブ加盟紙

大賞の部 茨城・松田氏 新人賞の部 山梨・青木氏

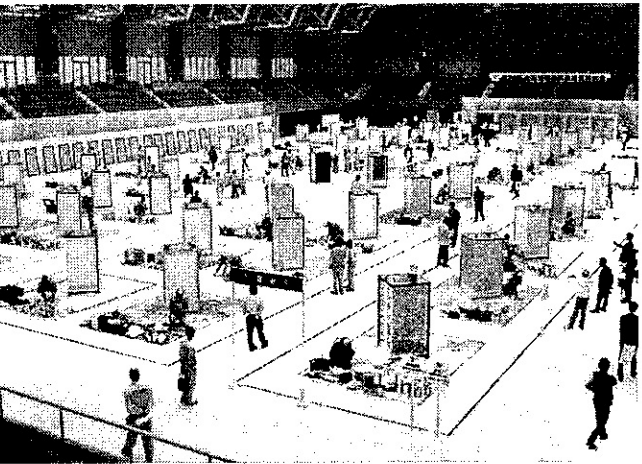
選抜52選手が腕比べ

第22回 全国建築塗装技能競技大会

第22回全国建築塗装技能競技大会(主催)日本塗装工業会、辻修(実行委員長)が10月7、8日、岡山県の桃太郎アリーナで開催され、全国から選抜された52名の選手が、刷毛、ローラー塗りや応接室の壁面デザインなど6つの課題で日頃培った塗装技能を競い合った。国土交通大臣賞(大賞の部)には茨城県代表の松田光司氏(松田商事)、厚生労働大臣賞(新人賞の部)に山梨県の青木 準氏(加賀美塗装店)がそれぞれ輝いた。毎回大会の見所となる自由課題では、東京代表・田中 努氏(佐藤興業)、愛媛代表の亀井勇一氏(影浦塗装工業)が部賞を受賞。今回、自由課題の壁面デザインについては見学者からの投票も行われ、こちらも田中氏が最高点を獲得した。

大賞の部で優勝した松田 光司氏は「会場を見れば、各ト平滑仕上げが良くでき課題で自分より優れていると思う作品があったので、(最優秀賞受賞が)本当に信じられない気持ちです」と喜びを表現した。競技では、刷毛塗りの仕上げの「だめ込み(塗り分け)」と「一方、新人賞の青木氏は、

「感想を聞かれると『本当にうれしい』と顔をほころばせた。本番で一番長くできたのは自由課題だった。練習の時は他の課題が良かったのだから、緊張感あふれる会場の雰囲気は『飲まれてしまった』と反省も。終了間近、競技スペースをさうきんがけして清掃していた姿が印象的だった。『最後まできちんと仕上げることが望ましい仕事だ』と、思っている。競技でいつも(いつもの仕事)と同じ。同大会は、塗装技能の向上を目的に、昭和43年に第1回が開かれて以来、全国



競技大会会場(桃太郎アリーナ)



松田光司氏

各地持ち回りで開催されている。岡山県での開催は初めて。競技は、大賞の部(1級建築塗装技能士)、新人賞の部(2級建築塗装技能士)の2つの級別で、いずれも国家資格に別れて行われ、それぞれ6種類の課題(自由課題、刷毛塗りの仕上げ、フレックスコーティング平滑仕上げ、フレックス

第22回全国建築塗装技能競技大会 in 岡山 入賞者

大賞の部	氏名	支部	所属会社
国土交通大臣賞	松田光司	茨城	松田商事
国交省 総合政策局 局長賞	大野 広	熊本	光塗装店
岡山県知事賞	小野啓紀	岡山	松岡塗装
岡山市長賞	田中 努	東京	佐藤興業
中央職業能力開発協会 会長賞	藤野 充	茨城	伊藤塗装店
(社)日本塗料工業会 会長賞	佐藤博之	宮城	松川塗装店
日本塗料商業組合 理事長賞	大河道春	愛媛	西岡塗装工業
(社)日本塗装工業会 会長賞	坂本隆宏	奈良	カラビケン
部門賞	A)フレックスコート自由仕上げ	田中 努	東京 佐藤興業
	B)つや有合調EP刷毛塗り仕上げ	大河道春	愛媛 西岡塗装工業
	C)フレックスコート平滑仕上げ	大野 広	熊本 光塗装店
	D)フレックススウェード木目調仕上げ	佐藤博之	宮城 松川塗装店
	E)防水形複層仕上げ材E模吹き凸部処理仕上げ調色	小野啓紀	岡山 松岡塗装
新人賞の部	氏名	支部	所属会社
厚生労働大臣賞	青木 準	山梨	加賀美塗装店
厚労省 職業能力開発局 局長賞	川崎敏宏	福島	福島塗装店
岡山県知事賞	東海林英明	宮城	阿部塗装工業
岡山市長賞	難波達矢	愛知	ナガエ塗装
中央職業能力開発協会 会長賞	池本竜也	大阪	五十嵐塗装店
(社)日本塗料工業会 会長賞	高尾力也	東京	栗田塗装
日本建築上材工業会 会長賞	瀧島宏一	東京	中村塗装店
(社)日本塗装工業会 会長賞	齋藤光昭	静岡	共栄社
部門賞	A)フレックスコート自由仕上げ	亀井勇一	愛媛 影浦塗装工業
	B)つや有合調EP刷毛塗り仕上げ	池本竜也	大阪 五十嵐塗装店
	C)合調EPローラー塗り仕上げ	青木 準	山梨 加賀美塗装店
	D)フレックススウェードラグローリング仕上げ	池本竜也	大阪 五十嵐塗装店
	E)防水形外装薄塗材Eローラー塗り仕上げ調色	難波達矢	愛知 ナガエ塗装
特別賞の部	氏名	支部	所属会社
フレックスコート自由仕上げ(一般投票の部)	田中 努	東京	佐藤興業
岡山商工会議所会 会頭賞	小野啓紀	岡山	松岡塗装
岡山県中小企業団体中央会 会長賞	浜辺洋志	広島	マツシタ
NHK岡山放送局 局長賞	徳光純太	山口	村上建築塗装
山陽新聞社 社長賞	山本忠司	島根	タナカ塗装システム
RSK山陽放送 社長賞	河本 猛	鳥取	牧田塗装店

スウェード木目調仕上げの視線を浴び、緊張で普段通りの身体が動かないという選手も多く、体調を崩して途中棄権した選手もあつた。課題の中で最も見込めがあるのが自由課題である。与えられたテーマ(今回は「応接室の壁面に創作する」)で、各選手が幅約90cm×高さ約180cmの板に描き出す。今回は、自由課題について一般投票も行われ、12票が投じられた。田中氏の作品は19票を得て1位となった。競技終了後の8日午後には表彰式が行われ、国土交通省や岡山県副知事、岡山市長など来賓から、入賞者に賞状と記念品が贈呈された。